

男女共同参画センターが担う今後の役割について

1 男女共同参画センターの機能

平成 11 年 12 月に男女共同参画社会形成のための拠点施設として開設して以来、さまざまな講座等を通して、実践的な事業を展開してきた。

主な機能として、

- ・ 調査機能（調査・研究事業）
- ・ 情報機能（情報収集提供事業）
- ・ 相談機能（相談事業）
- ・ 研修機能（研修・学習事業）
- ・ 交流機能（交流啓発事業）

の 5 つの機能をもって事業を推進している。

2 第 4 次ハーモニープランにおける男女共同参画センターの位置付け

基本目標の一つである「男女共同参画社会実現に向けての理解の促進」にあたり、重点的に実施する施策として「固定的性別役割分担意識の解消に向けた取組み」を設定した。この実現には人々の意識の中に形成された性別に基づく固定的な役割分担意識を解消していく必要がある。その実現に向け、男女共同参画に関する認識や意義に対する理解を深めるための広報・啓発活動を拠点施設である男女共同参画センターを中心に積極的に事業を展開していくと位置付けている。

3 第 4 次ハーモニープランに基づく男女共同参画センターが担う役割

第 4 次ハーモニープランに基づく施策を推進していくにあたり、拠点施設としての男女共同参画センターが担う役割を今後さらに強化・充実していくことが求められる。

特に、第 4 次ハーモニープランで設定した指標目標の達成に向け、男女共同参画センターが展開していく事業をより効果的に推進していく必要がある。

そのため、今後の男女共同参画センターに期待すること・担うべき役割等について検討していきたい。

4 男女共同参画センターのあり方の検討にあたって

前記 3 第 4 次ハーモニープランに基づく同センターが担う役割に加え、真の男女共同参画社会の実現を目指し、市民の更なる実践活動・協働の拠点施設として同センターが発展していくため、審議会での意見や提案、他自治体の先進事例等を参考に、将来の同センターのあり方を検討していきたい。

まずは、時代のニーズや地域特有の実情に即し、男女共同参画にかかる新たな課題にも取り組む機関として、特に、ソフト面の充実・強化が必要であると考えられる。

- ・ 多様化、複雑化する相談に対応できる体制づくりや他の相談機関との連携を強化する。
- ・ 現行の各種講座・イベント等、研修機能を充実させ、市民のニーズや参加機会の増大に応える講座やイベント等を企画・実施する。
- ・ 調査機能を生かし、アンケートによる市民意識の把握・分析結果から見出される、要因や背景等を推察し、課題の認識、解決に向けた施策の構築につなげる。

など、機能面を中心に中長期的な視点から、同センターがどうあるべきかを検討していきたい。

5 男女共同参画センターで実施している事業（参考）

平成 27 年度事業実績等の詳細は資料 1-1 を参照

- 調査機能・・・男女共同参画を進めるための調査や研究を実施
毎年度テーマを変え、アンケート調査を実施している。
平成 27 年度は「女性の“働くこと”についての調査」をテーマに実施
平成 27 年度第 4 回審議会において詳細を報告した。
- 情報機能・・・男女共同参画に関連するさまざまな情報の収集・提供
男女共同参画・福祉に関する図書、国・地方自治体や他市施設の刊行物、
新聞・雑誌、ビデオ・DVD など、各種の資料を収集し、提供している。
また、資料探索への協力、読書相談など、学習活動の支援を行っている。
その他、インターネットを通じた情報提供を行っている。
- 相談機能・・・専門員による各種相談を実施
ハーモニー相談（女性のための相談室）、男性電話相談
- 研修機能・・・男女共同参画への認識と理解を深めるための各種講座・イベントの実施
平成 27 年度は各種講座を 32 講座 69 回実施した。
- 交流機能・・・団体などの交流・ネットワークの支援などの事業の実施
平成 27 年度は情報誌の発行、ハーモニーシアター、ハーモニーサロン、
は～もねっと登録及び男女共同参画センターまつり等を実施した。